令和５年度　小学校家庭科研究計画

茨城県教育研究会　家庭、技術・家庭教育研究部

１　研究主題

生活をよりよくしようと自ら工夫する子供の育成

～家族や地域の人々とのつながりを大切にし、実践力を高める家庭科学習～

２　研究主題設定の理由

新学習指導要領の全面実施から２年が経つ中、新型コロナウイルス感染の拡大により、調理実習や交流学習等が制限されてきた。社会の変化は予測困難で複雑化、多様化し、これからを生きていく子どもたちに求められる力は変化を乗り越え、新たな価値を創造できる力を育むとともに、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることを目指していくことである。本県の研究は、「第 36 回関東甲信越地区小学校家庭科教育研究大会茨城大会」において、県内の全小学校及び関東甲信越ブロックに対し、紙上にて発表した。また、「第 58 回全国小学校家庭科教育研究会全国大会宮城大会」においても、研究の内容とその成果をオンラインで発表することができた。昨年は、前年度までの研究を踏まえ、授業実践とその評価に重点を置いて研究をより一層深められるように、各ブロック毎に日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養うための主体的な学びを充実させる実践を行った。

本年度はさらに、友達との協働や対話から互いの考えを深めたり、家族や地域の人々との関わりから自分の考えを広げ深めたりしながらよりよい生活を工夫することができる深い学びの実現を目指して研究を進めていく。なお、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進めるに当たり、「生活の営みに係る見方・考え方」である「家族や地域の人々との協力」、「健康・快適・安全」、「生活文化の大切さに気付くこと」及び「持続可能な社会の構築」の視点を十分に働かせ、衣食住等に関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育成することで、より質の高い深い学びにつなげるようにする。また、新型コロナウイルス感染対策が緩和され、日常に戻りつつある。だからこそ、人と人とのつながりを大切し、実習の進め方等、授業改善に向けて目の前の大きな課題の具体的な解決策についても探っていきたい。

3　研究の全体構想

【研究主題】

生活をよりよくしようと自ら工夫する子供の育成

～家族や地域の人々とのつながりを大切にし、実践力を高める家庭科学習～

【目指す児童像】

- 日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けている子供
- 日常生活の中から課題を設定し、学んだことを活用して解決できる子供
- 家族の一員として、生活をよりよくしようと実践する子供

【研究の内容】

手立て

＜視点１＞ 指導計画の工夫	＜視点２＞ 学習指導の充実	＜視点３＞ 評価の工夫
○実践力を高める年間指導計画の見直し ○つながりを重視した題材指導計画の工夫 ○目指す児童の姿を明確にした題材構成図の活用	○実践的・体験的な活動の充実 ○問題解決的な学習の充実 ○ICT の効果的な活用	○身に付いた資質・能力を見取るための評価 ○一人一台端末を活用した評価 （デジタルポートフォリオなど）

実践につなげるための家庭・地域との連携

４ 研究の方法

〇各ブロック重点研究のポイント

・視点２：ＩＣＴの効果的な活用

・視点３：一人一台端末を活用した評価方法の工夫

・デジタルポートフォリオ等などの活用（資料添付）

中央：
県北：
県東：
県西：
内容Ａ・Ｂ・Ｃを各ブロックで選択する。
共同で指導案を立案し、各学校（推進委員）で実践する。

県南：令和５年度・・・授業研究発表会の開催
※発表校・日時は未定

・令和４年度集約した５ブロックのレポート（教育プラザ　研究部 Web 上で公開予定）を参考にまとめる。

・各校で研究した内容は、ブロック長（推進委員）がレポートを４ページに集約しまとめ、ブロック長（校長）に起案したものを小学校事務局へメールで提出する。

メールアドレス：fujisima.natuko@mail.ibk.ed.jp（つくば市立学園の森義務教育学校：藤島奈津子宛）

提出期限：令和６年１月 12 日(金)まで

〇その他の研究の施策

① 郡市単位で開催される実技研修会への参加

② 「いばらきものづくりフェア」や郡市単位で開催の作品展への参加

③ 第６０回全国小学校家庭科研究大会全国大会　神奈川大会への参加　令和５年 10 月 27 日（金）
第３９回関東甲信越地区小学校家庭科教育研究大会　神奈川大会への参加　令和５年 10 月 27 日（金）

④ その他

小学校家庭科授業研究当番表（案）

令和５年５月

年度（西暦）	企画部	中央	県北	県南	県東	県西
Ｈ 23				つくば市関ブロ（松代小）		
24					神栖市深芝小	
25・26			常陸太田市立山田小			
27・28		水戸市立稲荷第二小				
29	全国大会提案発表					
30 ～ Ｒ 2	関ブロ小学校家庭科茨城大会					筑西市立下館小（紙上発表）
Ｒ 3（2021）	全国大会提案発表					
Ｒ 4（2022）				＊コロナ禍で延期		
Ｒ 5（2023）				つくばみらい市（　　）小		
Ｒ 6（2024）					（研究発表）	
Ｒ 7（2025）						
Ｒ 8（2026）	関ブロ実行委員会組織作り		（研究発表）			
Ｒ 9（2027）	リハーサル					
R10（2028）	関ブロ茨城大会研究発表					
R11（2029）	全国大会提案発表					
R12（2030）						

【関ブロ】

全国大会・関ブロ　　中央（附属小・緑岡小・浜田小）
関ブロ（H23）　　県南（つくば市立松代小）
関ブロ（R2）　　県西（筑西市立下館小）
関ブロ（R10）　　未定